

日本地学教育学会 2020 年度第 3 回 常務委員会議事録

日 時：2021 年 3 月 26 日（金）18 時 00 分～19 時 45 分

場 所：Cisco Webex Meetings による web 会議

出席者：久田健一郎，伊藤 孝，小関純一，上栗伸一，間處耕吉，宮下 治，内記昭彦，中林俊明，西浦慎悟，澤口 隆，菅原久誠，高橋 修，林 慶一，吉本直弘，米澤正弘
（計 15 名）

議 題

1. 前回議事録の確認

2. 2021 年度共通テスト評価について（内記）

松本 現（統括），青木秀則，南島正重，内記昭彦，宮嶋 敏，安藤祐美，菊地信吾，比企祐介（敬称略）という体制で検討された大学入試センター試験評価について，内記会員から，その検討内容と提出について報告があった。

3. 2021 年度役員選挙について（澤口）

本年度役員選挙も e 投票で行われる。選挙管理委員会の構成と役員候補者，推薦期間などについて確認と承認が行われた。近日中に学会ホームページおよびメーリングリストによって会員に公示される。

4. 東京大会の進捗状況について（宮下）

宮下副会長・東京大会実行委員長により，2021 年度第 75 回全国大会東京大会の進捗状況についての説明があった。東京大会は，2021 年 8 月 21 日（土）～23 日（月）の期間で開催される予定。大会テーマは「変動する地球に生きるための地学教育」。オンラインで開催し，巡検のみを対面で実施する予定である。大会 2 次案内を近日中に，学会ホームページおよびメーリングリストによって公開する。大会前日 20 日（金）には，評議員会をやはりオンラインで開催予定。

5. GeoSciEd 島根大会について（久田会長）

久田会長から，2022 年 8 月 21 日（日）～25 日（木）の期間で開催される，IX GeoSciEd2022 島根大会の進捗状況の説明があった。久田会長が大会会長，松本副会長が大会実行委員長を務めるなど，本学会からも多数の会員が実行委員として運営をお手伝いする。第 76 回全国大会島根大会も同時開催され，講演を学会会員が横断的に参加することを可能とする方向性も示された。

6. 支部活性化について（継続審議）（伊藤）

2021年6月までには、常務委員会・関東支部で試行的にイベントを開催する。その具体案（各地のジオパーク紹介など）について議論された。今後、ワーキンググループを各支部から会員を募集して立ち上げ、今後の支部活性化のための戦略をたてる予定である。

7. 日本地学教育学会学会賞の選考について（継続審議）（高橋）

学会賞選考のあり方について、小規模なワーキンググループで選考のあり方などを継続的に議論していく。次回の常務委員会までに、前回吉本会員から示された規約の改善点などを含めて問題点を洗い出し、具体的な検討を進める。

8. 入会者・退会者について（中林）

入会者：なし，退会者：石塚 登

*正会員 422，購読有料会員 23，購読無料会員 24，学生 8，在外 1，
シニア会員 59，名誉 3：合計 540.

報 告：

1. 各種委員会報告

1) 「地学教育」編集委員会（西浦）

「地学教育」第73巻第3号および第4号についての進捗状況が報告された。第73巻第3号は予定より1ヶ月おくれで近日J-Stage公開予定。第73巻第4号は現在取りまとめ中。審査中の投稿論文（2021/3/25現在）では、計25件（原著論文17，資料論文1，総説1）。1件の図版使用許可の申請があり許可した。また、学会ホームページ上の地学教育誌原稿の作成方法等の情報が更新されていなかったことがわかり、それらを修正した。

2) 「地学教育」特集号「災害多発時代の地学教育」編集委員会（吉本）

地学教育特集号「災害多発時代の地学教育」の編集進捗状況について報告があった。現在まで2編の投稿があり、4月30日まで投稿受け付け中である。

3) みんなの地学編集委員会（廣木：代高橋）

「みんなの地学」編集状況および目次（案）について報告があった。総ページ数は90ページ程度の見込みで、すでに大半が入稿済みである。4月中旬の初稿修正を予定している。

*次回2020年度第4回常務委員会5月13日（木）開催。